

AI/IoT時代のエコシステム構築 「テクノロジーベンチャーの探索・評価支援」



AI/IoT時代には異業種やベンチャー企業とのエコシステム構築が重要になります。

自動車産業が対応すべき技術領域が広がっている

自動運転やコネクティッドサービスのために、クルマに求められる機能が大きく拡大しています。これらの機能を実現するためには、AI(人工知能)や大規模ソフト開発、ビッグデータ解析、高精度デジタルマップなど、従来の自動車関連メーカーがノウハウを保有していない領域の技術の重要度が増しています。

これらの技術には、In-Car領域(車内で使用される技術領域)だけでなく、Out-Car領域(車外で使用される技術領域)でも革新技術が登場しているため、自動車関連メーカーはこれら技術への対応が求められてきます。

単独ではカバーしきれない領域では、異業種やベンチャーとの連携が求められる

対応すべき技術領域は極めて広いため、すべてを1社だけで実現できる企業はほとんどありません。また、AI/IoT時代に競争優位を確保するにはスピードがより重要になっています。したがって、自社だけでは実現が難しい領域では、自前主義を捨てて、異業種やベンチャー企業など他社との連携を迅速に進めることが重要となります。

異業種やベンチャー企業との連携は、自動車関連メーカーにとって、当該企業が持つ技術の獲得だけでなく、スピード感のある経営や、自社単独では取り組みにくい高リスク開発を行なう機会の獲得にもつながります。

■自動運転・コネクティッド領域において対応が必要な技術

	In-Car領域	Out-Car領域
自動運転	<ul style="list-style-type: none"> ●AIを活用した認識アルゴリズム開発 ●高性能半導体 ●高度なセンシング技術 ●大規模なソフトウェア開発 	<ul style="list-style-type: none"> ●高精度デジタルマップの作成・配信 ●ダイナミック情報の活用(V2X^{*1}通信)
コネクティッド	<ul style="list-style-type: none"> ●車載通信モジュール ●車載サイバーセキュリティ技術 ●アプリ・プラットフォーム開発 	<ul style="list-style-type: none"> ●OTA^{*2}アップデート ●ビッグデータ解析・活用 ●ユーザ情報等のOut-Car情報との連携 ●サイバーセキュリティ技術

*1 V2X: Vehicle to Xの略。クルマとその周囲にあるものを通信でつなぐ技術。

*2 OTA: Over the Airの略。無線通信によりソフトウェアや情報を更新する技術。

自動車関連メーカーは幅広い技術への対応が求められる

NRIは、お客様のニーズに合わせ、AI/IoTのコア技術を持つベンチャー企業を、スピーディに探索・評価いたします。

ベンチャー企業の探索から評価まで トータルサポート

AI/IoT業界では、ベンチャー企業でもすぐに大きく成長する可能性があります。一方、資金力や人材の確保の問題で消滅するリスクや他の企業に買収されてしまうリスクもあります。したがって、ベンチャー企業を協業先として選定する際には、対象会社を多面的に評価し、迅速な意思決定をする必要があります。

NRIは、先進国だけではなく新興国においてもベンチャー企業をモニタリングする仕組みを構築し、産業構造やコア技術の関連企業を網羅的に把握するデータベースを構築しています。

単なるありきたりなリストを提供するのではなく、NRIは、技術の強みや人脈マップ、ステークホルダーの評価など、様々な視点で、クライアントのニーズに合わせて柔軟に企業評価を行うことができます。

ケース：AI/IoT技術を持つ協業先の 評価支援

NRIには、自動車産業や機械産業などの複数の分野での成功事例があります。

例えば、自動車メーカーによるAI関連の協業先評価では、信用情報などの公開情報収集だけでなく、協業候補企業関係者の人脈マップを作成した上で、ベンチャーキャピタルや候補企業の関係者へのインタビューなどにより、候補企業を多面的に評価しました。加えて、協業により得られるリターンと想定されるリスク、リスクを察知するために見ておくべきポイント、リスクの低減策を提示しました。約1か月という短期間のプロジェクトだったものの、スピーディに完了しました。

また、機械メーカーのIoT戦略構築支援においては、各国・地域のIoTベンチャー企業の探索から提携交渉支援までを迅速に対応しました。

NRIのテクノロジーベンチャー評価の視点

